日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRSj NEWS

PUBLIC RELATIONS SOCIETY OF JAPAN

2012年8・9月
NO. 233

TOPICS

「新しい教育委員会の取り組みについて」
(公社)日本パブリックリレーションズ協会　副理事長　菊地　彰夫
MESSAGE　P3

「広報PRアカデミー2012
広報・PR実務スキルアップ講座　受講受付中！」
ATTENTION　P4

「2012年度PRアワードグランプリ
9月3日からエントリー募集を開始！」
ATTENTION　P5

「PR会社検索(PR業インデックス)
9月14日締切／ご登録データ更新のご案内」
ATTENTION　P7

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会
〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号　六本木ヒルズノースタワー
5F 電話(03)5413-6760　ファックス(03)5413-2147
URL　http://www.prsj.or.jp/
関西支部　〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F
電話(06)6344-3002　ファックス(06)6344-3005

発行人:森　健

8･9月合併号　目次

9月・10月のスケジュール		1
MESSAGE(メッセージ)	「新しい教育委員会の取り組みについて」	3
ATTENTION(お知らせ)	「広報PRアカデミー2012「広報・PR実務スキルアップ講座」受講受付中！」	4
〃	「2012年度「PRアワードグランプリ」9月3日からエントリー募集を開始！」	5
〃	「PR会社検索（PR業インデックス）9月14日締切／ご登録データ更新のご案内」	7
BULLETIN(活動報告)	「広報PRアカデミー2012　上半期PRプランナー試験対応2講座を修了」	8
〃	「第10回PRプランナー資格検定試験　3次試験結果発表：合格率は64.2%」	9
〃	「7月20日、「会員納涼懇親会」開催」【会員限定】	10
〃	「第7回「広報ゼミ」を7月17日に開催」　【会員限定】	10
〃	「第22回PRスキル研究会　「PRパーソン必聴！　バラエティ番組の舞台裏」」　【会員限定】	10
PR TREND(PRトレンド（国内）	「ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング2012年6月・7月度」	11
PR TREND(PRトレンド（関西）	「関西の風：大阪が変わるとき」	13
BOOKS(書評・参考文献)	「空飛ぶ広報室」	14
PLAZA(会員便り)	「山見インテグレーター㈱　山見博康氏が「58歳からはじめる定年前後の段取り術」発刊」	15
表4		

9月～10月スケジュール

広報PRアカデミー2012 **専門・応用コース** **「広報・PR実務スキルアップ講座」**	日　時	： 9 月 5 日（水） 13:30～17:30
	会　場	： 六本木アカデミーヒルズ 49
	講　師	： ㈱電通パブリックリレーションズ コミュニケーション局 次長　青木浩一氏
	テーマ	： ニュースリリース活用講座 ～ネット時代に対応したニュースリリースの活用～
	日　時	： 9 月 12 日（水） 13:30～17:30
	会　場	： 六本木アカデミーヒルズ 49
	講　師	： ㈱電通パブリックリレーションズ関西支社 ディレクション部 兼 本社事業開発部 シニア・コンサルタント 林 恵司氏
	テーマ	： マーケティングPR強化講座 ～戦略PRとソーシャルメディア～
	日　時	： 9 月 19 日（水） 13:30～17:30
	会　場	： 六本木アカデミーヒルズ 49
	講　師	： 井澤リスクマネジメント事務所 所長 井澤幹夫氏
	テーマ	： クライシス・コミュニケーション強化講座 ～緊急記者会見と危機対応のポイント～
広報活動研究会（企業部会）	日　時	： 9 月 20 日（木） 15:00～
	訪問先	： パナソニックリビングショウルーム（汐留）
第 142 回定例研究会	日　時	： 9 月 28 日（金） 12:00～14:00
	会　場	： 六本木アカデミーヒルズ 49
	講　師	： ㈱NHK出版 執行役員 編集局 教育文化編集部長 橋本 隆氏
	テーマ	： NHKスポーツ放送 その舞台裏を探る ～NHKのスポーツ報道、スポーツ番組は 如何にして創られるのか～
第 41 回親睦ゴルフ会	日　時	： 10 月 25 日（木） 9:00（OUTスタート）
	場　所	： 日本カントリークラブ
第 143 回定例研究会	日　時	： 10 月 26 日（金） 12:00～14:00
	会　場	： 日本外国特派員協会（FCCJ）
	講　師	： 共同通信社 論説委員兼編集委員 谷口 学氏

9月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（９月度）	日　時	：	９月 11 日（火）　12：00～14：00
	場　所	：	六本木ヒルズクラブ
幹部会（経営会議）（９月度）	日　時	：	９月 11 日（火）　10：30～11：45
	場　所	：	協会会議室
教育委員会（９月度）	日　時	：	９月　５日（水）　11：00～12：30
	場　所	：	協会会議室
資格委員会（９月度）	日　時	：	９月 27 日（木）　12：00～14：00
	場　所	：	協会会議室
交流委員会（９月度）	日　時	：	９月 20 日（木）　12：00～13：30
	場　所	：	協会会議室
広報委員会（９月度）	日　時	：	９月 19 日（水）　16：00～18：00
	場　所	：	協会会議室
ＰＲ小委員会（９月度）	日　時	：	９月 19 日（水）　14：00～16：00
	場　所	：	協会会議室
出版小委員会（９月度）	日　時	：	９月 12 日（水）　16：00～18：00
	場　所	：	協会会議室
顕彰小委員会（９月度）	日　時	：	９月 19 日（水）　12：00～14：00
	場　所	：	協会会議室
企業部会幹事会（９月度）	日　時	：	９月　６日（木）　17：00～18：00
	場　所	：	協会会議室
ＰＲ業部会幹事会（９月度）	日　時	：	９月 13 日（木）　16：00～18：00
	場　所	：	協会会議室
ＩＴ委員会（９月度）	日　時	：	９月 ７日（金）　12：00～14：00
	場　所	：	協会会議室

新しい教育委員会の取り組みについて

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
副理事長　菊地 彰夫

この度、副理事長・教育委員会委員長を拝命しました。ご高承のように当協会は本年４月に公益社団法人化され、新たな出発をしました。当協会は、公益社団法人として公益性の高い活動と社会への貢献が期待されるところです。教育委員会は、協会の公益事業の大きな柱を担う日本社会における広報・ＰＲの一層の普及と社会的地位の確立、次世代を担う優れた広報・ＰＲ専門人材の育成に向けて真剣に取り組んで参ります。

今日、情報通信環境の整備を背景に産業界や人々の間を飛び交う情報量が爆発的に増大し、ＩＣＴの革新とグローバル化の進展によってコミュニケーションは国境を超えて24時間にわたって自在に行われるようになりました。毎年のように新たなコミュニケーションの技術革新と応用が進む一方、デジタル化によって広報・ＰＲ、広告、プロモーション等の従来のコミュニケーションの業際を超えた、新しい統合的なデジタルコミュニケーションサービスが展開される環境となりつつあります。これらのコミュニケーション環境の変化は、我々広報・ＰＲの業務に関わるＰＲパーソンの業務のあり方を大胆に変えつつあり、今、広報・ＰＲは大きな転換点を迎えています。ＰＲパーソンはコミュニケーション環境の変化に対応して、新しい広報・ＰＲコミュニケーションの開発と推進に向けて努力しなければなりません。教育委員会では、会員の皆様に適宜最新のコミュニケーション関連情報をお届けし、会員相互の研鑽を積む機会も提供して参りたいと思っています。

他方では、マスメディアたる報道機関は今後も社会に大きな影響を及ぼし続けると見込まれ、ＰＲパーソンの業務の基盤の一端を担うマスメディアとの関係構築活動、すなわちメディアリレーションズの重要性について再認識も進んでいると感じています。教育委員会では、大手報道機関幹部等外部講師を招聘して直近のニュースやメディア情勢を学習する「定例研究会」、「広報ＰＲアカデミー」では広報・ＰＲのケーススタディ学習を通じて最新の広報・ＰＲトレンドを理解する「広報・ＰＲプロジェクト最新事例セミナー」、広報・ＰＲ実務者の育成を図る「広報・ＰＲ実務スキルアップ講座」等、多くのカリキュラムを通じて教育・人材育成に貢献し、会員相互の交流・連携の機会も提供していきます。

教育委員会委員各位の力を合わせて諸活動を強化して参りますので、ご期待ください。今後とも宜しくご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ATTENTION

広報PRアカデミー2012

「広報・PR実務スキルアップ講座」受講受付中！

--- より高いレベルでの業務遂行を可能とする実力養成講座 --

教　育　委　員　会

教育委員会では、来る９月５日より「広報ＰＲアカデミー2012　広報・ＰＲ実務スキルアップ講座」3 講座を六本木アカデミーヒルズ 49 にて開講します。

いずれの講座も、経験豊富な実務専門家によるポイントを押さえた講義と実務スキルを確実に習得できるグループ演習で構成し、より高いレベルで広報・ＰＲの業務を遂行する実力を養成します。

各講座の概要は以下です。皆様のふるっての受講をお待ち申し上げます。

■「広報・PR実務スキルアップ講座」の概要

日　時	講座テーマ	講座概要	講　　師	締切
9 月 5 日 （水） 13:30 ～ 17:30	ニュースリリース活用講座 --ネット時代に対応した ニュースリリースの活用--	ニュースリリースの概念や基本的な作成法、メディアの種別や特性を学び、ネットと連動する広報ツールとしてニュースリリースの効果的な活用法を講義と演習を通じて習得します（講義と演習）。	㈱電通パブリックリレーションズ コミュニケーションデザイン局 次長 青木浩一　氏	8 月 31 日 （金）
9 月 12 日 （水） 13:30 ～ 17:30	マーケティングPR強化講座 --戦略広報とソーシャルメディア--	マーケティングPRの事例を通じて、PR最適のコンテンツ／コンテキスト創出の視点を学びます。また、生活者間におけるコンテンツ拡散のベースとなるSNSの活用方法／使用時の留意点を理解し、マーケティングPR活動の計画と実施に不可欠なスキルを講義と演習を通じて習得します（講義と演習）。	㈱電通パブリックリレーションズ 関西支社ディレクション部兼本社事業開発部 シニア・コンサルタント 林　恵司　氏	9 月 7 日 （金）
9 月 19 日 （水） 13:30 ～ 17:30	クライシスコミュニケーション強化講座 --緊急記者会見と危機対応のポイント--	緊急記者会見のシミュレーショントレーニングの経験を通じて、企業や団体の危機的事態における心構え、マスメディアへの対応のポイントについて習得します（講義と演習）。	井澤リスクマネジメント事務所 所長 井澤幹夫　氏	9 月 14 日 （金）

●会　場：六本木アカデミーヒルズ 49
●定　員：各 40 名　（開講最低人数：20 名）
●受講料：受 講 料（消費税込、各講座それぞれ）

日本ＰＲ協会会員社員	21,000 円
ＰＲプランナー（准・補）取得者	26,250 円
一般	31,500 円

※日本ＰＲ協会会員社員の受講料は法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

■講座詳細/お申込み：

日本ＰＲ協会Ｗｅｂサイト"セミナーイベントを探す"の「専門・応用コース/広報・ＰＲ実務スキルアップ講座」 ページ(以下ＵＲＬ）をご参照の上、お申込みください。

http://event.prsj.or.jp/event/advanced/skill_up

2012 年度「ＰＲアワードグランプリ」9 月 3 日からエントリー募集を開始！

広報委員会（顕彰小委員会）

優秀な活動を表彰・公開し、コミュニケーション技術の質的向上を図る目的としてスタートした「ＰＲアワードグランプリ」のエントリー募集を９月３日から開始いたします。

今年度も会員のみならず、広く一般からもエントリー募集をいたします。また、経済産業省、日本広報学会、（公社）日本広報強化からご後援をいただきました。

皆様におかれましては、奮ってエントリーをお願いいたします。

■「ＰＲアワードグランプリ」募集概要

・募集開始：2012 年 9 月 3 日（月）
・後援　　：経済産業省、日本広報学会、公益社団法人 日本広報協会
・告知　　：協会ホームページ等
・応募作品：（公社）日本パブリックリレーションズ協会の会員社ならびに非会員の企業・団体が実施あるいは参加したコミュニケーション活動
・対象期間：・最近 1 年間（2011 年 10 月～2012 年 9 月）に成果があがった活動
　　・または現在でも継続している活動
・応募部門：
　■コーポレート・コミュニケーション部門
　■マーケティング・コミュニケーション部門
　■ソーシャル・コミュニケーション部門
　■イノベーション部門
・募集締切　：2012 年 10 月 31 日（水）必着
・エントリー方法
　・郵送
・エントリー条件
　・会　員：10,500 円／1 作品（消費税含む／振込手数料別途）
　・非会員：21,000 円／1 作品（消費税含む／振込手数料別途）
・審査方法
　＜部門審査＞
　各部門ごとにあらかじめ選定された部門審査員が一堂に会し、対象となる作品をエントリーシートをもとに審査・協議のうえ、3 作品を選出する。
　部門審査員（敬称略）：
■コーポレート・コミュニケーション部門（5 名）
　・部門審査員長：猪狩　誠也（東京経済大学 名誉教授）
　・部門審査員　：会員から 4 名
■マーケティング・コミュニケーション部門（5 名）
　・部門審査員長：田中　洋（中央大学 大学院戦略経営研究科 教授）
　・部門審査員　：会員から 4 名

■ソーシャル・コミュニケーション部門（5 名）
・部門審査員長：井上　邦夫（東洋大学　経営学部経営学科 教授）
・部門審査員　：会員から 4 名
■イノベーション部門（5 名）
・部門審査員長：濱田 逸郎（江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 教授／日本広報学会 理事長）
・部門審査員　：会員から 4 名
＜最終審査＞
・最終審査会・発表・表彰式：2012 年 12 月 6 日（木）
・最終審査会では、部門審査を通過した作品について各エントリー企業・団体からのプレゼンテーションを行う。（1 社 10 分）
最終審査員（敬称略）：
■特別審査員（4 名）
仲　舎菜子（経済産業省　商務情報政策局　文化情報関連産業課　課長補佐）（予定）
田中　里沙（株式会社 宣伝会議　取締役副社長・編集室長）
大宅　映子（評論家・コメンテーター）
阿久津　聡（一橋大学 大学院国際企業戦略研究科 教授）
■各部門審査委員長（4 名）
猪狩　誠也（東京経済大学 名誉教授）
田中　　洋（中央大学 大学院戦略経営研究科教授）
井上　邦夫（東洋大学　経営学部経営学科 教授）
濱田　逸郎（江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 教授／日本広報学会 理事長）
■一般審査員　40 名～50 名（予定）※ＰＲ協会会員および非会員から公募により選出（1 社 2 名まで）

・表彰
「ＰＲアワードグランプリ」　1 作品（表彰盾と副賞 10 万円を授与）
「ＰＲアワード　最優秀部門賞」　4 作品（各部門 1 作品／表彰盾と副賞 5 万円を授与）
「ＰＲアワード　優秀賞」　7 作品（各部門 2 作品以内／最終審査に残った作品表彰状を授与）
・「ＰＲアワードグランプリ」上位入賞者メリット
・次回「ＰＲアワードグランプリ」部門審査員への推薦
・ＰＲ協会ＨＰでの紹介
・ＰＲ協会発行のイヤーブックにて紹介
・協会主催のセミナー等で、作品のご紹介

なお、詳しい応募内容は、以下の協会ホームページをご参照ください。

http://www.prsj.or.jp/shiraberu/award/entry2012_award

ＰＲ会社検索（ＰＲ業インデックス）
9 月 14 日締切／ご登録データ更新のご案内

Ｐ　Ｒ　業　部　会

　昨年度より当協会Ｗｅｂサイトにて稼働しております『ＰＲ会社検索』の掲載情報を、10 月に更新したく存じます。

　つきましては、掲載情報の更新・変更につきまして、ご確認・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

　なお、ご訂正・ご修正登録の締切は、**【9 月 14 日（金）】まで**とさせていただきますので、ご多忙のところ恐縮でございますが、よろしくお願い申し上げます。

PR会社検索

≪更新にあたってのご注意とお願い≫

１．自社の記載情報を下記よりご確認ください。

　＜ＰＲ会社検索＞

　http://www.prsj.or.jp/search/

２．掲載データに「訂正・修正のない方」

　本メールへのご返信にて、ご修正のない旨をご連絡ください。

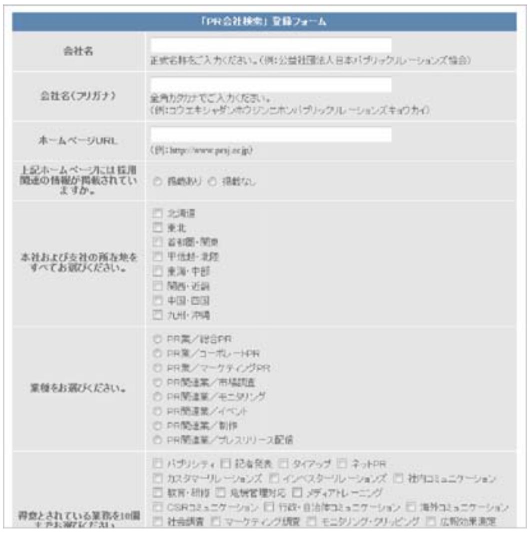
３．掲載データに「訂正・修正のある方」、「未登録で掲載を希望される方」

　下記フォームより、ご登録される情報をすべてにご入力ください。

　＜ＰＲ会社検索登録フォーム＞

　https://39auto.biz/pr-shikaku/touroku/prindex.htm

　※すでにご掲載いただいている企業で、1 部のみご訂正・ご修正がある場合でも、ご訂正・ご修正箇所だけではなく、すべての項目をご入力くださいますようお願いいたします。ご訂正・ご修正箇所のみのご登録の場合は、ご訂正・ご修正内容が反映されませんので、予めご了承ください。



PR 会社検索登録フォーム

４．不掲載を希望される方

　本メールへのご返信にて、不掲載の旨をご連絡ください。

その他ご不明な点などございましたら、事務局までご連絡頂ければ幸いです。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

（公社）日本パブリックリレーションズ協会　事務局
TEL：03-5413-6760／FAX:03-5413-2147

広報PRアカデミー2012

上半期PRプランナー試験対応2講座を終了

教　育　委　員　会

教育委員会では、今年度上半期におけるＰＲプランナー試験対応講座２講座を開講、ＰＲプランナーを志望する多数の受講者の参加のもとに好評のうちに終了しました。広報・ＰＲに関する実用的な資格としてＰＲプランナーは企業・団体における定着の度合いを深めており、講座受講者の増加と軌を一にして、その人気はますます高まりをみせています。

■3 次試験対応講座

本年６月６日より７月 11 日まで、６回にわたり「3 次試験対応講座」を六本木アカデミーヒルズにて開講しました。インターネットを活用したＷｅｂ受講者、講座会場でグループ演習に取り組む会場受講者の合計約 40 名が本講座にエントリーし、ニュースリリースの作成と、広報・ＰＲ計画の立案作成（マーケティング課題、コーポレート課題）に関しての知識とスキルの習得に励みました。

前期の３次対応講座と同様、「合格するニュースリリースの作成法」講座は㈱ミラ・ソルの田代　順氏、「広報・ＰＲ計画の立案作成（マーケティング課題）」では㈱インテグレートの赤坂 幸正氏、「広報・ＰＲ計画の立案作成（コーポレート課題）」は㈱電通パブリックリレーションズの岡本 純子氏のベテラン講師が担当、受講者全員の合格に向けた熱心な指導を行いました。

第 10 回３次試験は７月 21 日に東京、大阪で実施されており、多数の受講者が挑戦しています。

■1 次試験対応講座

今回の１次試験対応講座は、７月 24 日より８月 21 日まで４回にわたり開講し、Ｗｅｂ受講、会場受講あわせて約 40 名が受講しています。１次試験対応講座は今回より内容をあらため、本講座では初めて実際に過去の一次試験に出題された問題を使用した模擬試験形式を採用しました。本試験の半分となる 25 の問題を 40 分で回答し、その後、正答について講師が解説を行うなど、試験対策として有効性を高めた実践的な講座となりました。講師は前期と同様、㈱プロペラ・コミュニケーションズの永井 昌代氏と事務局　真部の２名が担当しています。

８月 26 日には東京、大阪、札幌で第 11 回１次試験が実施され、400 名を超える受験者が試験問題に取り組みました。１次試験対応講座の受講者多数の合格が期待されます。

次回の３次試験対応講座は本年 12 月、１次試験対応講座は来年１月に開講の予定です。募集詳細の公開ならびに受講受付は、11 月頃より日本ＰＲ協会のＷｅｂサイトにて行う予定です。

第 10 回ＰＲプランナー資格検定試験
3 次試験結果発表：合格率は 64.2%

資　格　委　員　会

7 月 21 日（土）に富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター（東京会場）、富士通ラーニングメディア関西ラーニングセンター（大阪会場）において第 10 回ＰＲプランナー資格検定 3 次試験が行われ、189 名の受験申込者のうち 176 名の方（出席率 93.1%）が受験されました。

ご協力いただきました関係者の皆様、大変ありがとうございました。

今回の 3 次試験におけるニュースリリース課題は、音声認識機能により会話するお掃除ロボットの新製品発売リリースの作成という内容でした。

また、広報・ＰＲ計画の立案作成におけるコーポレート課題は、情報システムの構築や運用サービスなどを主要事業としている企業において、ブランディング等の様々な改善に向けた社外向け公式Ｗｅｂサイトのリニューアル方針を策定するものでした。マーケティング課題は、北海道北見市を舞台とした 3 年間にわたるシティプロモーションのコミュニケーション戦略と広報・ＰＲ計画を立てよという内容でした。

厳正な判定の結果、113 名が合格（合格率 64.2%）となり、8 月 19 日に発表となりました。

合格された方は、9 月に実施されます「2012 年度前期 第 10 回ＰＲプランナー」の書類審査を経た後、新たにＰＲプランナーとして認定となります。仮に、全員が認定されれば、ＰＲプランナー登録者数は 1,318 名となります。

また、今回の受験者はおよび合格者の受験者プロフィールは次の通りです。

＜第 10 回 3 次試験　業種別／年代別合格率＞

		PR業/PR関連業	一般企業（広報PR関連）	一般企業（その他）	各種団体	教育機関	自治体	その他	全体
男性	受験者	33 名	46 名	7 名	3 名	5 名	3 名	4 名	101 名
	合格者	21 名	27 名	4 名	3 名	2 名	3 名	4 名	64 名
女性	受験者	13 名	50 名	4 名	1 名	0 名	2 名	5 名	75 名
	合格者	10 名	30 名	3 名	0 名	0 名	2 名	4 名	49 名
全体	受験者（全体比）	46 名（26.1%）	96 名（54.5%）	11 名（6.3%）	4 名（2.3%）	5 名（2.8%）	5 名（2.8%）	9 名（5.1%）	176 名（100.0%）
	合格者（全体比）	31 名（27.4%）	57 名（50.4%）	7 名（6.2%）	3 名（2.7%）	2 名（1.8%）	5 名（4.4%）	8 名（7.1%）	113 名（100.0%）
	合格率	**67.4%**	**59.4%**	**63.6%**	**75.0%**	**40.0%**	**100.0%**	**88.9%**	**64.2%**

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男性	受験者	18 名	49 名	34 名	101 名
	合格者	11 名	29 名	24 名	64 名
女性	受験者	18 名	43 名	14 名	75 名
	合格者	11 名	32 名	6 名	49 名
全体	受験者（全体比）	36 名（20.5%）	92 名（52.3%）	48 名（27.3%）	176 名（100.0%）
	合格者（全体比）	22 名（19.5%）	61 名（54.0%）	30 名（26.5%）	113 名（100.0%）
	合格率	**61.1%**	**66.3%**	**62.5%**	**64.2%**

受験者	合格者	合格率
176 名	113 名	64.2%

※第 1 回～10 回まで累計は、資格制度ホームページより、資格認定制度について＞過去の合格率（3 次試験）（http://pr-shikaku.prsj.or.jp/about/pass_3rd_exam）をご参照ください。

会 員 限 定

7 月 20 日、「会員納涼懇親会」開催

交 流 委 員 会

去る7月20 日（金）、原宿のトラットリア「ベニーレ ベニーレ」にて、「会員納涼懇親会」が開催されました。

会は2部構成で、前半は辻田交流委員会委員長のご挨拶のあと、「『2011.12のカントリー・ブランド・インデックス』～なんと日本が観光のカテゴリーで第一位に～」というテーマで、ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド㈱　代表取締役会長の西谷 武夫氏が、また「『オリンピック招致のグローバル・コミュニケーション戦略』～2020年夏季オリンピックを東京で開催するために～」というテーマで、東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会 戦略広報部シニアディレクター代行の高谷 正哲氏が講演を行い、後半には森　健理事長のご挨拶と乾杯のご発声に続き、懇親会を行いました。

第 7 回「広報ゼミ」を 7 月 17 日に開催

企 業 部 会

さる 7 月 17 日（火）16 時から、企業部会は、「広報ゼミ」を富士通ラーニングメディア（品川）会議室にて開催しました。「広報ゼミ」は、比較的少人数で各社の広報活動の実態を互いに共有・研究しあうものであり、今回で 7 回目となります。

今回「第 7 回広報ゼミ」のテーマは、「広報組織論」としました。12 社 13 名の会員が参加されました。

第 22 回ＰＲスキル研究会
「PRパーソン必聴！バラエティ番組の舞台裏」

Ｐ Ｒ 業 部 会

6 月 26 日に行われた「第 22 回ＰＲスキル研究会」では、㈱日企　代表取締役社長　河野 直樹氏を講師にお迎えし、バラエティ番組の制作についてお話を伺いました。報道・情報番組のディレクターや制作会社に比べると広報との接点も少なく、事実ＰＲスキル研究会としても初めて取り上げられるジャンルで、39 名の方が参加されました。

ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング
2012 年 6 月・7 月度

エレクトロニック・ライブラリーは、2012年6月・7月度の「話題のキーワード・ランキング」を発表しました。

これは、6 月及び 7 月に発行された新聞 96 紙・雑誌約 100 誌のうち、「ＥＬＮＥＴ」に登録されているキーワード約 263 万語のヒット数の増減を数値化した「ＥＬトレンド指数」等をもとに「一般キーワード」と「企業キーワード」に分けて分析したものです。

「一般キーワード」と「企業キーワード」のＴＯＰ10 は以下の通りです。

■ 2012 年 6 月度　ＥＬ一般キーワード　ＴＯＰ10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	6.90	一体改革	6位	3.82	地下鉄サリン事件
2位	6.69	大飯原子力発電所	7位	3.56	原子力規制委員会
3位	5.78	再選挙	8位	3.45	欧州危機
4位	4.65	債務危機	9位	3.40	後期高齢者医療制度
5位	3.99	被災地支援	10位	3.21	新党結成

■ 2012 年 7 月度　ＥＬ一般キーワード　ＴＯＰ10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	6.85	国民の生活が第一	6位	4.38	原子力規制委員会
2位	6.31	消費増税	7位	4.36	離党
3位	5.20	九州北部豪雨	8位	4.10	一体改革
4位	4.64	ロンドン銀行間取引金利	9位	3.38	新党結成
5位	4.44	不正操作	10位	3.91	債務危機

■ 2012 年 6 月度　ＥＬ企業キーワード　ＴＯＰ10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	2.61	三井住友信託銀行	6位	1.56	日清食品
2位	1.92	中央三井アセット信託銀行	7位	1.54	アサヒグループホールディングス
3位	1.69	鴻海精密工業	8位	1.51	ジェットスター・ジャパン
4位	1.59	北越紀州製紙	9位	1.51	ALSOK
5位	1.58	陸援隊	10位	1.51	富士フイルムホールディングス

■ 2012 年 7 月度　ＥＬ企業キーワード　ＴＯＰ10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	3.11	バークレイズ	6位	1.71	ECB
2位	1.99	イングランド銀行	7位	1.65	ベスト電器
3位	1.96	ALSOK	8位	1.63	日清食品
4位	1.78	ジェットスター・ジャパン	9位	1.55	エディオン
5位	1.71	マルチ・スズキ	10位	1.54	大和証券

※ＥＬＮＥＴホームページでは毎月の発表を週刊にバージョンアップした上で、
「ＥＬウィークリートレンド」として毎週水曜日に発表しています。
詳細は以下ご参照ください。

http://www.elnet.co.jp/el/trend/index.html

＜コラム　関西の風＞

大阪が変わるとき

（公社）日本パブリックリレーションズ協会
理事・関西部会部会長　伴　　一郎
（伴ピーアール㈱　代表取締役社長）

大阪が「天下の台所」「日本国中の賄所」と言われた元禄時代。江戸の八百八町、京都の八百八寺、なにわの八百八橋と例えられるほど水上交通が発達している大阪。現在でも市域面積の 1 割が川で占められている。

市内中心部を流れる大川（旧淀川）と船を利用した祭礼のひとつに大阪天満宮の天神祭がある。今年も無事に 1061 年目を迎え 7 月 25 日の船渡御（ふなとぎょ）には 102 万人（警察発表）の見物人が押し寄せた。約 100 隻の船団に 1 万人以上が乗船。この川が金色に染まる夕方の祭りに、現在でも毎年民間で出し合った 10 億円が使われている。

川を使った水上祭では世界的に見ても巨大な祭りである。この祭は元禄のころから盛んになり町人や商人によって今に至るまで支え続けられてきた。当時の権力者であった武家に対し、中之島にあった全国 120 藩の多くの蔵屋敷の前を賑やかに船渡御をすることで、大阪の心意気や誇り、力を天下に知らしめ、何十体もの大きな歌舞伎役者や文楽を型取ったお迎え人形などを飾り付けました。

大阪は昔から政治にはあまり関心の薄い土地柄である。しかし、今、世情を騒がしている、橋本 徹大阪市長率いる「大阪維新の会」が次期衆議院選挙の準備を進めている。また、9 月 12 日に「大阪から国を変える！！」維新候補たちが全国遊説に乗り出す予定だ。

歴史を振り返ってみれば日本が大きく変わるときには大阪が舞台になっている場合が多いことに気付く。長い間の戦乱で秀吉が天下統一を果たし、大阪城を築くことによって、日本がまとまる。大阪城が夏の陣に破れ、江戸幕府が開かれる。幕末、大阪城に入った徳川慶喜公が官軍対幕府軍、鳥羽伏見の戦の中、船に乗り、江戸城に逃げ返ることによって、明治維新を迎え、現在に至っている。

これから関西からどのような風が吹くのか。まだまだ流動的ではある。

『空飛ぶ広報室』

有川　浩 著　　幻冬舎　　1,600 円（＋税）

先日のことだが、米国の著名な映画監督トニー・スコット氏の自殺が報じられた。同氏は、米海軍の超エリート・パイロットの成長を、Ｆ-14 トムキャット戦闘機による空中戦訓練や、パイロット仲間、女性教官との交流を絡めて青春ストーリー風に描いた 1986 年のハリウッド映画「TOP GUN」の監督として知られている。ベースの響きでイントロが始まるノリのよい Kenny Loggins のロック「Danger Zone」の流れる中、朝靄を背景に航空母艦からF-14 が飛び立つシーンをスローな望遠ショットでとらえた冒頭の映像は印象的であり、見るたびにストーリーに引き込まれる。この映画は米国内だけでなく世界でヒットし、撮影に全面的に協力した米海軍のイメージアップに大きく貢献したという。軍にとって国民の理解と支持は重要であり、いずれの国でも最近はＰＲにも相当に力を入れているようだ。

わが国で軍に相当するのは、自衛隊だろう。かつて軍事力を行使してアジア諸国に侵攻し、国内的には強権的に国民を抑圧した暴力的な旧日本軍の醜悪なイメージを引きずり、今も払拭できないのが自衛隊の宿命だ。

そして国民の理解を深め好感度を高めるため、陸海空の自衛隊が広報に力を入れていることは、どうやらあまり知られていない。航空自衛隊を舞台にその見えない広報の取り組みを描いたのが、作家　有川 浩氏の小説「空飛ぶ広報室」である。

物語の舞台は、防衛省航空自衛隊航空幕僚監部広報室。Ｐ免（戦闘機パイロット資格の喪失）で傷心の主人公が広報室のなかで個性溢れた上司や同僚、やはり心に傷を抱えるキー局の女性ディレクターと人間模様を繰り広げ、専門性の高い広報の仕事を次第に自分のものとしながら成長を遂げていく。そんな、ヒューマンなストーリーが 460 ページにわたって軽いタッチで描かれている。

著者は自衛隊の取材を重ねたようだが、どこまでが事実でどこからが創作なのかは、正直なところわからない。自衛隊は厳格な指揮命令系統が確立された組織であり、映画やテレビの撮影の協力に向けたコンセンサスの形成は相当の困難が伴うだろう。一方、ビジュアルでシンプルな広報資料の作成やテレビ取材の対応などＢ to Ｃの広報と変わらない業務対応などの記述に触れると、本当にここまでやっているのかという勘繰りも出てくる。また、上下関係の明確な階級システムと厳格な規律が支配する組織のなかで、小説に描かれたような風通しのよい議論のもとに仕事を進められるものか？ あれこれ気になるところはあるが、いずれにしろ自衛隊が広報に力を入れ、様々な取り組みを進めているのは間違いないようだ。

今年で、戦後 67 年。国民の世代交代とともに、自衛隊についての印象や評価もかなり変化を遂げている。地震や台風など災害復旧への貢献、特に東日本大震災の被災地への支援に感謝している人々も多いだろう。こんな社会貢献の取り組みがイメージ面においても改善に貢献していることがうかがえる。残虐な軍隊と言う旧軍の悪印象も、かなり薄れているのも確かではないか。

「空飛ぶ広報室」でも、東日本大震災の普及に向けた自衛隊の取り組みと苦労話が、女性作家である有川 浩氏の目線も交えて描かれる。津波で大きな被害を受けながらも、松島基地では地元の救援に真っ先に取り組んだという。自衛隊員自身の苦労を取り上げたいという報道機関も少なくなかったようだが、それに対して「・・自衛隊がいたら被災者は温かいごはんが食べられるということをクローズアップしてほしい・・」と、主人公は自衛隊の広報姿勢を小説の中で伝える。

世の中、自分の活躍を自慢げにＰＲする企業や個人のなんと多いことか。裏方に徹し、謙虚に語る姿勢が広報にとっては実に重要と考えるのは、私だけだろうか？

■ 会員便り

山見インテグレーター㈱　山見 博康氏が
「58 歳からはじめる定年前後の段取り術」を 8 月 22 日に発刊
岡本 行夫氏が“「これから」の価値ある時間を作れる本”と推奨！

個人正会員Ｂである山見インテグレーター㈱　代表取締役　山見 博康氏が 8 月 22 日に 13 冊目（＋海外 3 冊）となる「58 歳からはじめる定年前後の段取り術」を発刊しました。

本書は“老いの段取り実用書”であり、“老いるノウハウ満載の教養書”です。異なる境遇の 100 人以上にインタビューした実例満載の生き方ヒント集です。読者は、辞典を引くように読むことにより、それぞれ自分の好みで、自分に合った生きる方法を見出し、たった一度の自分の人生を満喫して安心して健康に老いて、愛する家族に看取られつつ、満ち足りた顔で永遠の旅立ちを迎えることができます。本書は、読者が抱く多様な思いや情熱を、それぞれの事情に合わせて燃焼させる役に立ちます。具体的で簡潔な表現によりわかりやすい多様な人生の実例集であり、準備しておくべきことを網羅したすぐに役立つ人生辞典です。

定年 60 歳前後のサラリーマン、60 代・70 代の人、または早くから人生の段取りを考えたい 40 代・50 代の人にもぜひお読みいただきたい 1 冊です。

※「人生の記録」「エンディングノート」が山見インテグレーター㈱のホームページよりダウンロードでき、自由に作成することができます。

＜書籍データ＞
『58 歳からはじめる定年前後の段取り術』（並製、46 判、308 ページ）
著　者　：山見 博康
出版社　：明日香出版社
発行年月：2012 年 8 月 22 日
価格：1,600 円（税別）

※この件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。
山見インテグレーター㈱　山見 博康
TEL：03-4360-5424　Email：yamami@yico.co.jp

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思いますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会
Ｅメール　mail@prsj.or.jp
ＦＡＸ　03－5413-2147

※　禁転載

広報ＰＲアカデミー2012　講座概要

コース	コース目標	対象者	講座名		講座概要	開催時期	講座構成	期間	定員
基礎コース	従来、初級・入門編として実施していた座学の集中カリキュラム	PR会社や広報セクション等に入社、配属された新任もしくは経験の浅い広報・PR業務の担当者。広報・PRを基礎から学びたい方	広報・PR基礎講座		企業の新任広報担当者、PR会社等の広報業務従事者に必要な基本的な知識、スキルを3日間で習得する。	4月	[第1日] ・パブリックリレーションズの基礎（90分） ・広報・PR実務と計画立案の基本（90分） ・コーポレート・コミュニケーションズと企業における広報・PR活動の実際（90分） ・インターナル・コミュニケーションの実際（90分） ・広報・PRパーソンの心構えと自己啓発（90分	全日講座/3日間	60名
							[第2日] ・PR会社の役割と仕事（90分） ・広報・PRの倫理と法規（著作権等）（90分） ・ニュースリリースの基本作成実習（240分）		
							[第3日] ・新聞、テレビ、雑誌等のメディア特性とメディアリレーションズ（90分） ・ネットの特性と広報における活用（90分） ・メディアリレーションズの基本実習（「実践メディアリレーションズ」）（240分）		
		SNS未利用者（初心者）	ソーシャルメディア基礎講座 「今さら聞けないSNS」		Twitter、Facebookの最も基本的な使い方を学ぶ。会員限定。	6月	・広報・PRにおけるｿｰｼｬﾙﾒﾃﾞｨｱ活用概論（60分） ・Twitter、Facebook等の操作実習（120分）	180分	10名
専門・応用コース	従来、中級・上級編として実施していた座学及び演習付きカリキュラム	PRアワード受賞プロジェクトに興味のある広報・PR関係者	[事例研究]広報・PRプロジェクト最新事例セミナー----「PRｱﾜｰﾄﾞｸﾞﾗﾝﾌﾟﾘ表彰企業の取組みに学ぶ----		・「PRアワード2011」のグランプリ、4部門最優秀賞を2回に分けて紹介し、プロジェクト事例の解説し、企画の考え方について学ぶ。	5月・6月	・第1回　PRアワード趣旨/MC部門/イノベーション部門 ・第2回　GP/CC部門/ソーシャル部門	各150分（夜間）	150名
		実務スキルの向上に意欲のある広報・PR関係者	広報・PR実践スキルアップコース	ニュースリリース活用講座 --ネット時代に対応したニュースリリースの活用--	ニュースリリースの概念や基本的な作成法、メディアの種別や特性を学び、ネットとも連動する広報ツールとしてニュースリリースの効果的な活用法を講義と演習を通じて習得する。	9月	講義と演習（240分） 3回一括受講者に対してはパッケージ価格として10%引きとする	240分/1回	60名
				マーケティングPR強化講座 --IMCとソーシャルメディアの活用--	マーケティングPRの概念やソーシャルメディアをはじめとするさまざまなメディアを効果的に活用する活動計画の立案法を、講義と演習を通じて習得する。			240分/1回	60名
				クライシスコミュニケーション強化講座 --緊急記者会見と危機対応のﾎﾟｲﾝﾄ--	緊急記者会見のシミュレーショントレーニングの経験を通じて、企業や団体の危機的事態における心構え、マスメディアへの対応のポイントについて習得する。			240分/1回	60名
		広報・PRにおけるソーシャルメディアの活用に興味のある方	ソーシャルメディア実践講座		実際に企業や団体の広報、マーケティングの分野で多様なソーシャルメディアを活用しているキーマンによるパネルディスカッションをとおし、活用のポイントや留意すべき問題点について探っていく。	5月～10月（全4回）	・パネルディスカッション（各120分）	夜間　120分	150名
		広報・PRにおける専門的な知識、スキルの習得に意欲があり、プロフェッショナルとして自らの実務能力の向上をめざす方	プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ	コーポレート・コミュニケーションの概念と戦略・計画の立案	企業広報の基本となるコーポレートコミュニケーションの概念を企業の実例を交えて解説し、広報戦略や計画の立案のポイントについて習得する。	11月～2月	講義（120分）	19:00～21:00	各60名
				危機管理の心構えとクライシス・コミュニケーション推進のポイント	不祥事や事故、ネットにおける炎上や情報漏洩など、企業団体における危機的事態の原因、成功や失敗について実例を通じて解説し、広報・PR担当者が備えるべき心構えや対応のポイントを習得する。		講義と演習（240分）	17:00～21:00	
				マーケティング/ブランディングを基礎としたコミュニケーションの計画と実施	マーケティングPRのベースとなるマーケティングやブランディングの概念、考え方を解説し、演習をとおしてコミュニケーション計画の立案や活動実施のポイントを習得する。		講義と演習（240分）	17:00～21:00	
				CSR、IRと連携した経営と広報・PR戦略の展開	企業価値の向上に不可欠となっているCSRやIRの企業経営における位置付けや機能を確認し、先進企業のケーススタディをとおして企業をとりまくステークホールダーへのコミュニケーションのポイントを習得する。		講義（120分）	19:00～21:00	
				グロバール企業におけるグループ広報の実際とコミュニケーション戦略	グローバルにグループ展開している日本企業が行うコミュにーション活動について、多様なケーススタディを通じてその戦略立案や計画推進のポイントを学ぶ。		講義（120分）	19:00～21:00	
				企業広報におけるインターネット導入の実際と効果的な活用	マスメディアと共存する新しいメディアとしてWebやソーシャルメディアを企業広報にどのように位置付け、活用していくべきか、実例をとおしてそのポイントを学ぶ。		講義（120分）	19:00～21:00	
				広報・PR活動を評価する効果測定の実際と新技法	広報・PR活動の効果測定の現状と新しい傾向を実例を通して学び、どのように効果測定を実施し活用していくべきかそのポイントを学ぶ。		講義（120分）	19:00～21:00	
PRプランナー試験対応コース	広報・PRに関する知識やスキルを習得させ、PRプランナー資格認定・検定制度試験を合格できる実力を育成する	広報・PR業務に興味を持ち、PRプランナー試験の合格をめざす方	1次試験対応講座		過去問題を活用し、模擬試験と解説で構成。全4回。	7月、1月	演習（120分）	各120分/週1回 4日間（夜間）	60名（会場受講者）
			3次試験対応講座		ニュースリリース、広報・PR計画の立案作成（マーケティング）、広報・PR計画の立案作成（コーポレート）の3テーマを講義と演習でそれぞれ構成。全6回。	6月、12月	講義と演習（150分）	各150分/週1回 6日間（夜間）	60名（会場受講者）

※各講座の詳細につきましては、順次ホームページ（http://event.prsj.or.jp）で発表いたします。

＊カリキュラム及び講師については、変更する場合があります。予めご了承ください。

Copylight © PUBLIC RELATIONS SOCIETY OF JAPAN 2012. All Right Reserved.